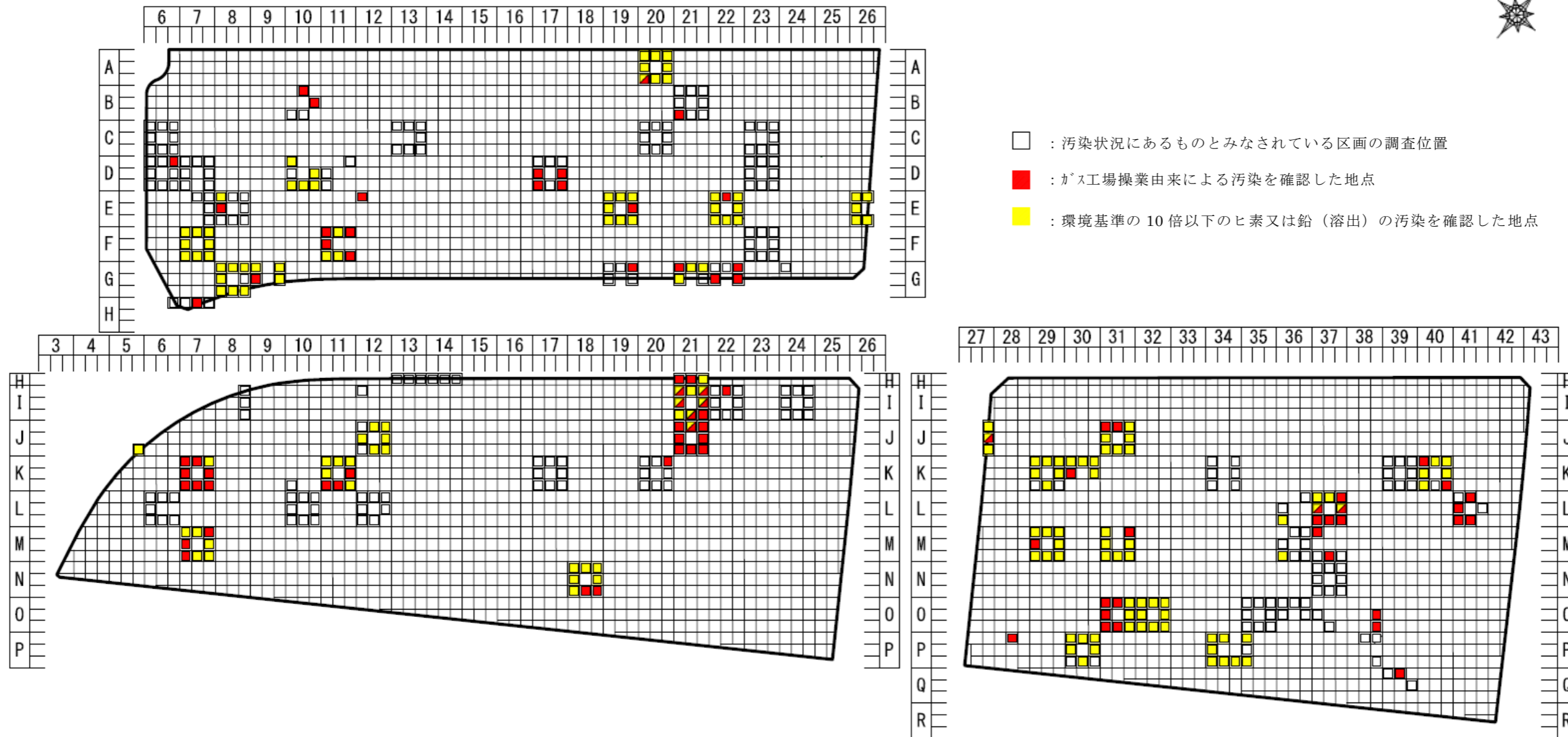


汚染状態にあるものとみなされている区域の調査位置図



【汚染状態にあるものとみなされている区域の調査の概要】

- 汚染状態にあるものとみなされている区域の調査：過去に東京ガスが行った調査で汚染が確認されている A.P. +2m 以下の深度で、汚染状態にあるものとみなされている周辺区画の汚染の有無を確認する調査
- 今回 458 地点 (1,002 検体) で調査を行い、
 - ・ガス工場操業に由来する汚染として、シアン化合物 16 地点 (28 検体)、ヒ素 (溶出) 50 地点 (63 検体)、鉛 (含有) 28 地点 (28 検体) を確認した。
 - ・ヒ素 (溶出) 157 地点 (421 検体) 及び鉛 (溶出) 5 地点 (5 検体) で環境基準の 10 倍以下の汚染を検出した。
- 今後の対応：引き続き調査を行い、ガス工場操業に由来する汚染が確認された場合は、確実に除去する。
 なお、環境基準の 10 倍以下のヒ素 (溶出)、鉛 (溶出) はガス工場操業に由来する汚染ではないと考えられると専門家から見解^{*}をいただいているため、対策は行わない。
^{*} 特定有害物質の過去の調査による判断や分布特性等の観点から検討を行ったうえでの、専門家の判断